

## 新・港村 村民 (順不同)

各チームの滞在期間は5日～3ヶ月。全てのチームの活動内容資料は会期中常設展示

### 海外のオルタナティブスペース

アート&アーキテクチュア・フロント(NY/アメリカ)  
ラ・マシオン(ナント/フランス)  
アート・ジーン(バローインファーンヌ/イギリス)  
NDSM ワープ(アムステルダム/オランダ)  
スマート・プロジェクト・スペース(アムステルダム/オランダ)  
レザルティス(アムステルダム/オランダ)  
アンガール(バルセロナ/スペイン)  
カン・チャラン(マタゴ/スペイン)  
AIR 台北(TAI/Taipei Artist Village) (台北/台湾)  
竹園工作室 Bamboo Curtain Studio(台北/台湾)  
オブジェクティブス(シンガポール)  
ズニ・コサヘドロ/ダニー・ユン(香港/中国)  
アートスペース(シドニー/オーストラリア)  
パフォーマンスペース(シドニー/オーストラリア)  
コンストエビデンス(ヨーツボリ/スウェーデン)  
ペタニエン(ベルリン/ドイツ)  
トウズラクター(ブダペスト/ハンガリー)

### 韓国

ソウルアートスペース・グムチョン(ソウル文化財団)  
totatoga(釜山)  
釜山文化財団(釜山)  
釜山大学(釜山)  
net-a (東亜大学校石堂美術館) (釜山)  
ピジョンアートセンター(富平区/仁川)  
インチョンアートプラットフォーム(仁川文化財団)  
FREEZOOM(京畿道)  
ムンレアーティストビレッジ(ソウル)  
スッカラカフェ(ソウル)  
オルタナティブスペース LOOP(ソウル)  
オープンスペース Bae(釜山)  
スペース・Bande(釜山)  
AGIT(釜山)  
続・朝鮮通信使(日時)  
TETSUSON 韓国チーム

### 国際展・街づくり

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ  
瀬戸国際芸術祭  
水と土の芸術祭  
BEPPU PROJECT  
あいちトリエンナーレ  
代官山インスタレーション  
神戸ビエンナーレ2011  
横浜トリエンナーレ

### 国内のアーティスト・イン・アジアティブ

graf(大阪)  
Art Center Ongoing(東京)  
HOTELASIA PROJECT/GALLERY SOAP(北九州)  
COCOROOM(大阪)  
神戸アートビレッジセンター(神戸)  
N-mark + a(名古屋)  
前島アートセンター(沖縄)  
クリエイティブセンター大阪/名村造船跡地(大阪)  
NPO法人プラスアーツ(大阪)  
VIDEO ACT1(東京)  
LTOON(アニメーションスタジオ) (横浜)  
映像グループ ローボジション(横浜)  
大野一雄舞踏研究所(横浜)  
慶応義塾大学アート+センター(東京)  
PARC/TPAMIY(東京)  
劇団磨セミ☆(横浜)  
鳥の劇場(鳥取)  
tpi/シタープロジェクト・東京(東京)  
山羊とみつばちのラララ会(東京)  
遊工房アートスペース(東京)  
3331 Arts Chiyoda(東京)  
S-AIR(札幌)  
公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワ  
ンダーサイト(東京)  
ARCUS(茨城)  
東京ピクニッククラブ(東京)  
UDCK/ 格の業アーバンデザインセンター(千葉)  
SMF/ サイタマ・ミュージック・フォーラム(埼玉)  
NPO法人 向島学会(東京)  
CAI 現代芸術研究所(札幌)  
だがねランド(名古屋都市センター) (名古屋)  
国際デザインセンター(名古屋)  
Arts and Law(東京)  
美術協定実行委員会事務局(東京)  
blanClass(横浜)  
NPO法人 創を考える会・北九州(北九州)  
CAAK, Center for Art & Architecture,  
Kanazawa (金沢)

HAAI(アフリカ)  
AfricArt design (アフリカ)  
金沢工業大学未来デザイン研究所(アフリカ×日  
本×世界II)  
横浜を撮る！撮る！撮る！  
横浜を撮る！撮る！撮る！アペルト  
いまゆら(BankART School 飯沢耕太郎ゼミ有志)  
photographers' gallery (東京)  
それがすぎ(東京藝大)、MP1、他

### 横浜のチーム

ST スポット  
象の森テラス  
黄金町バザール  
急な坂スタジオ  
ACY/アーツコミッション・ヨコハマ  
関内外 OPEN!  
ヨコハマホステルヴィレッジ  
寿・オルタナティブネットワーク  
nitehi works  
シネマ・ジャック & ベティ  
totatoga(釜山)  
井原忠露  
はまっごどうし(水道局)  
ギャルリーバビ  
ギャラリー-卯甲  
北仲スクール(横浜国大他6大学連合)  
ペピン結構設計  
共同サード  
女子陸上部  
石井造園株式会社

### 歴史的建造物の活用

赤煉瓦倶楽部舞動(京都)  
RAC・街・建築・文化再生集団(前橋/群馬)  
KITO(きいと) (デザイン・クリエイティブセ  
ンター-KOBE/旧神戸生糸検査所)  
NPO法人金沢アーク(金沢)  
横浜開港資料館  
横浜歴史資産調査会/ヨコハマヘリテイジ  
日本郵船歴史博物館(横浜)  
開港5都市モボ・モガを探せ！(開港5都市連動)

### 集合アトリエチーム

芸術不動産(横浜)  
CET / セントラルイースト東京  
宇徳ビルヨソカイ(横浜)  
TRUNKI CREATIVE OFFICE SHARING(仙台)  
トラベラーズプロジェクト(樹屋 2023 等) (福岡)  
co-lab:shared collaboration studio(東京)  
関内フューチャーセンター(横浜)  
クリエイティブネットワークセンター大阪  
ミックラング(大阪)  
メルカート三番街(北九州)

### インディーズメディア

あいたの会(東京)  
HAMArt (横浜)  
リア制作室(名古屋)  
TEAM ROUNDABOUT(東京)  
毛原大樹の最後のテレビ  
建築系 ラジオ  
ヨコハマ経済新聞(横浜)

### インディーズスクール

YES: イェス/ヨコハマ・エコスクール(横浜)  
伊東建築塾(今治/愛媛他)  
美術学校(東京)  
せんだいスクール・オブ・デザイン(仙台)  
これからどうなる？ヨコハマ研究会(横浜)  
中原佑介研究会  
BankART school (横浜)

### 東北から

アーキエイド(ネットワーク)  
MMIX Lab(ミックスラボ) (仙台)  
UDCT/田村地域デザインセンター(田村/福島)  
八戸ポータルミュージアムはっち(青森)

### 横断的な組織

公益社団法人企業メソ協議会  
ブリティッシュ・カウンスィル  
オーストラリア大使館  
アサヒ・アート・フェスティバル  
公益財団法人セゾン文化財団  
一般財団法人ウジツングアンコミュニティ財団

## スタジオをデザインする建築家、空間を制作する作家、 あるいは常設のスタジオを運営するクリエイター等

空間構成:みかんぐみ+BankART1929  
エネルギーデザイン:ステップチェンジ

みかんぐみ  
小泉アトリエ/小泉雅生  
高橋晶子+高橋 寛/ワークステーション  
コンポナラリス/柳澤 潤  
宮 晶子/STUDIO 2A  
小嶋一浩+赤松佳珠子/CA t (シラカンスア  
ンドアソシエイトウキョウ)  
東京都市大学手塚貴晴研究室+手塚由比  
藤村麗至  
らいおん建築事務所/嶋田洋平  
岡部友彦+小林国弘  
夫 学社  
SPACESPACE  
松田 達  
淺井裕介  
櫻井かえて  
井原忠露  
中谷ミチコ  
ギャルリーバビ  
笹田亜希  
三好剛生  
松田直樹  
滝沢達史

深沢アート研究所  
生意気  
PHスタジオ  
松本秋則  
白井美穂  
磯崎道佳  
開発光明  
藤本隆行  
高橋啓祐/off-Nibroll  
鈴木雄介  
村田峰紀  
南雲由子(美容室)  
MOBIUM/河村陽介(アートバス)  
牛島達治(汎用動力研究所)  
KOSUGEI-16(自転車部) (かき水自転車)  
北風総貴+NOGAN+中澤佑介+その他(デザイ  
ンセンター)  
[FASHION RE-MAKER] (矢内原亮志+ト  
ア+高松太郎 +大友邦子+窪田久美子+ト  
ブカルソン+ニッポロールアバウトストリート)  
和井内京子+ KISSA(デザイン+靴)  
セグウェイ・ジャパン(Segway)  
鈴木 勲(移動機械)

### [BankART LifeIIIのチケット(新・港村バスポート)料金]

一般当日 300円 / 大学生当日 250円 / 高校生当日 200円  
中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

### [新・港村バスポート]

特別連携セット券で入館された方にも、展示会の概要や期  
間中のイベントが掲載されている「新・港村バスポート」を  
発行します。会期中何度でも入場可能です。但し、内部で  
行なわれている催しの一部(例えば演劇公演)は、その催しご  
とに有料になる場合があります。

### [特別連携セット券] (ヨコハマトリエンナーレ2011+黄金町バザール2011+BankARTLifeIII)

前売券:一般1,400円 / 大学生・専門学校生 900円 / 高校生400円  
当日券:一般1,800円 / 大学生・専門学校生1,200円 / 高校生700円

### [お問い合わせ] BankART1929 新港ピア事務所

TEL 045-228-8212 FAX 045-664-3353 mirai@bankart1929.com  
「新・港村」公式サイト <http://shinminatamura.com>

### [アクセス] 新港ピア 横浜市中区新港2-5

横浜みどりみらい線「馬車道駅」6番出口「赤れんが倉庫口」  
万国橋・ワールドボーターズ方面へ新港ぶ頭まで直進 徒歩約10分

### [会場間無料バス] 横浜美術館→NYK→新港ピア→横浜美術館→日ノ出町 (降車のみ)→黄金町→横浜美術館 10～15分 毎運行時間は12時～19時を予定



# 新・港村 Shin Minatomura

小さな未来都市 A Small City for the Future

2011年 8月6日[土]→11月6日[日] (休館日=8月と9月の木曜日+10/13[木]、10/27[木])  
時間=11:30-19:00 (金曜の夜は21時まで) 会場=新港ピア(横浜市中区新港2-5)

新・港村はあらゆる国と種類のクリエイターが働く蜃気楼のような小さな未来都市です。村の家や図書館や劇場は、  
建築家やアーティストによってデザインされますが、主に廃材や粗大ゴミ等で構成されます。新しい材料を使用し  
た場合は、再利用します。そして外部からほとんど電気をいただきません。太陽光発電と充電システム、また楽しみ  
ながらの人力発電でなんとかやっています。夜はLEDや行灯が灯ります。新・港村は、東北と横浜の間を人や物  
資や知恵や力を積んで、何度でも往来するためのプラットフォームです。毎週でるバスが、東北人と新・港人をつなぎ、  
未来都市へと出航します。

主催: BankART 1929 共催: 横浜市文化観光局  
協力: 株式会社日本エコシステム、Qセルズジャパン株式会社、株式会社スマートエナジー、パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社、  
石井造園株式会社、ダイマック株式会社、三菱製紙株式会社、理想科学工業株式会社、横浜市住宅供給公社、神奈川県住宅供給公社、UR都市機構 神奈川県支社

# 新・港村

しんみなとむら  
小さな未来都市

2011年 8月6日 [土] → 11月6日 [日]  
(休館日 = 8月と9月の木曜日+10/13 [木]、10/27 [木])  
時間 = 11:30-19:00 (金曜の夜は21時まで)  
会場 = 新港ピア (横浜市中区新港2-5)



Aゾーンのアンダーコンストラクション

## ロケーション「新港ピア」

今から100年以上前に埋め立てられ、整備された港、新港埠頭。ここは、残されたハンマーヘッドクレーンに象徴されるように、港としての機能をほほ終え、これから新しい世界へ扉を開こうとしているゾーンだ。99年にワールドポーターズやナビオス、02年に赤レンガやJICA横浜等がオープン。06年には元客船ターミナルが東京藝大映像研究科のスタジオとして生まれ変わり、08年には横浜トリエンナーレ2008の開催会場として、新港ピアが新設された。



## 国内外のクリエイターチームが働く集合スタジオ

「新港ピア」のヒューマンスケールをはるかに超えた巨大な空間 (4,400 m<sup>2</sup>) に、「小さな未来都市」をつくる。街の住人は、国内外から招待されたアートイニシアティブの約150チーム300名 (全員が同時期に入村するわけではない)。ベースになる資料展示に加えて、各チームによる独立した活発な活動 (展覧会やイベント) の連鎖で会場全体が共鳴していく。



## スタジオは誰がどうやってつくるか？

新港ピアの建物の内部空間を外部空間とみなし、新たにヒューマンスケールの街をつくる。建物が2Fレベルの回廊で結ばれている街、小さな建物が密集している街、劇場やギャラリー等のパブリックな施設がある街、海を望む住宅街、これらの異なる表情の街が連続した街として構成される。

アートイニシアティブチームの仕事場は、建築家やアーティストがデザイン・制作する「家」や「空間」。動物園、スクール、飲食店、ブティック、散髪屋工房等も登場。主に展示会の廃材や不要家具等で構成されるが、新規に素材を使ったものは会期終了後、再利用する。



招く人たち (活動する人たちは) は国内外のアートイニシアティブチーム。その仕事場 (スタジオ) や空間は横浜創造界隈及び全国のクリエイターがデザイン/制作。住と食は、横浜市民や商店街から提供して頂く。電気は85%オフ。そしてその制作プロセスを開いていくこと。クリエイターと市民と東北を繋ぐ、小さいけれど大切で多様なことが織られている「小さな未来都市」。

## 無限に生成する多様な日常 (イベント)

BankART1929の主催事業の他に、村を構成する各チームによるイベント (日常) が連日開催される。大規模な展覧会、メーキングを主としたパフォーマンスプログラム、古着をリメイクし販売していくチーム、スクール、国際シンポジウム、パーティ等々…。大小数百の活動が連鎖していく。(以下はほんの一部を紹介)

**スーパースクール開校** 月、火、水の19時30分～21時15分 受講料が必要になります。通常のBankARTSchoolに加えて、全国の様々なスクールが同時開催。美学校、blanClass、YES (ヨコハマエコスクール)、北仲スクール、伊東建築塾、ヨコハマヘリテージ、メセナ協議会、せんだいスクールオブデザイン。  
主催:各スクール及びBankART1929

**UNDER35ギャラリー** 35歳以下のクリエイターによるUNDER35ギャラリー+HHギャラリーでの連続開展。8/6-8/17 西原 尚 (美術)、9/2-9/14 森 雅則 (写真)、奥村昂子 (公衆美術)、9/16-9/28 成瀬友梨 + 猪熊 純 (建築)、藤村 豪 & 内野清香 (美術)、9/30-10/12 大西麻貴 + 白田有希 (建築)、浅井裕介 (美術)、10/14-11/16 中谷 ミチコ (美術)、滝 逸舟 (公衆美術) 主催:BankART1929

**新・港村Cafe Live 2011** 別途入場料が必要 ¥2,300 ~ ¥2,800 (1ドリンク付)。ドリンクを飲みながらの週末のリラックスしたパフォーマンスプログラム。メーキングプロセスも常時オープン。8/6 梅若猶彦、8/20 友部正人 + 野村 誠、9/3 公衆プログラム / 川崎 歩 + 前納依里子 + 木下毅人、9/10 文珠の知恵熱 + テニス コーツ、9/18 巻上公一 + SUNDRUM、11/3 ARICA、11/5 off-Nibroll、11/6 廣田あつ子 x 中村恵恵

**八戸レビュー** 新・港村ギャラリー 8月6日 (土) ~ 8月31日 (水) 震災前に開催された八戸の人々と生活、人々の絆を描いた展覧会 (八戸ポータルミュージアム はっち、2011.2.26 ~ 3.30) の再構成展。八戸市民と3人の写真家、梅 佳代、浅田政志、津藤秀雄によるコラボレーション。  
企画:八戸市 [八戸ポータルミュージアム はっち]  
協力:内田真由美 / 森本千絵  
共催:BankART1929 + 八戸市 [八戸ポータルミュージアム はっち]

**大野一雄フェスティバル2011** 新・港村劇場、他 9月30日 (金) ~ 10月30日 (日) 別途入場料が必要 ¥2800 ~ ¥3000 [New Piece Project] 新・港村の円形劇場で、演出家とパフォーマンスが滞在制作、フォーラム等を行ないながら発表を行なう。9/30、10/1、2 カリヌ・サボルタ & プロジェクト 大山、10/7、8、9 オキ裕キと新人H、10/15、16 レジーヌ・シヨビノ、10/22 藤本隆行 + 吉本大輔、10/28、29、30 ダニー・ユン + 清水寛二 [新・港村版 御殿、空を飛ぶ] 10/23 大野慶人 + 大橋也哉 & ダンサー + 岡登志子 [横浜ダンス界隈2011] 街を巡りながらのダンスプログラム。10/10 金井圭介 藍木二期 + 坂田守 + 垣内美希 + 栗田真希、他 [ダンスア・カブ] [展示] 大野一雄舞踏研究所、PARC、慶應義塾大学アート・センター 主催:大野一雄舞踏研究所 + BankART1929

**横浜を撮る! 撮る! 撮る!** 新・港村全体 (33m x 135m) / 10月14日 (金) ~ 11月6日 (日) 横浜とは? これまでの横浜、これからの横浜とは? 新・港村を起点に横浜を撮る! 石内 都、北島敬三、小山穂太郎、佐藤時啓、鈴木理策、中平卓馬、橋橋朝子、宮本隆司、森山大道 (交渉中)、森日出夫、山崎博、佐久間里美、三本松淳、他 主催:BankART1929  
**村田真展《絵画芸術》** 美術ジャーナリスト村田氏による油彩作品、主に「ブック」シリーズの開展。NYK及び新・港村にて開催 8.6 ~ 9.21。ナディファート 主催「画家・村田真《世界の巨匠シリーズ》」と同時開催。8.4 ~ 9.11

**電気** 建物の既存の空調や照明は使用せず、太陽光発電と新充電システムを構築し約50kwを発電。楽しみながらの人力発電等で、電力使用量85%オフを目指す。村を構成する家やスタジオには個別の空調・照明を導入。夜はLEDや行灯。正面 (南面) には緑のカーテン (ゴーヤ) を育てる。

**住** 遠方からくる人たちの「住まい」は? 数日滞在の人はホテル。長期滞在の人は郊外地区等の高齢化団地の活用や、市民提供によるホームステイ。都心部を支えてくれている郊外地区でも小さな催しを積極的に行なう。BankART かもめ荘、ギャラリーパリー・アパート、神奈川県住宅供給公社、横浜市住宅供給公社、UR都市機構神奈川地域支社他より30部屋程度確保する。滞在期間は3日 ~ 3ヶ月。同時滞在人数MAX約70名。

**食** これまでBankARTが「食と現代美術」で培ってきた関内外の飲食店とのネットワークを活かし、主にケータリングのリレーからなるフードコートを設置。招待チーム関連の特産品やフードアートチームによるスペシャルイベント、WSプログラム等も行なう。CUEL、食研究工房 + Pate 林 (のり子)、木村崇人、スカラカフェ (韓国)、その他多数。

**プラットフォーム** このプロジェクトは、多くの専門家が参画して推進されるが、そのプロセスは可能な限り市民や多様な人々に開き、協働していきたい。また毎週運行されるバスが、東北と横浜の間を人や物資や知恵力を積んで、何度も往來する。図書館のためのタンス200、カフェのためのソファ50、縫製 (服) 工房のための古着1,000、等々も市民から提供してもらおう。その他の制作プロセスについても市民に開いていく。

**新港ピア~NYKをつなぐプログラム** 新港ピアから徒歩で往來する際の心理的な距離の遠さを緩和する。海岸通団地立替え工事の仮園を使用しての作家によるペインティング、ナビオス、ワールドポーターズ、JICA、万国橋SOKO等とリンクする。

**バス 横トリとの強い連携** 「新・港村」はヨコハマトリエンナーレ2011との特別連携プログラムのひとつ。  
[同時開催] 8月6日 ~ 11月6日 (休館日も同じ)  
[会場間無料バス] 横浜美術館 → NYK → 新港ピア → 横浜美術館 → 一日ノ出町 (降車のみ) → 黄金町 → 横浜美術館 10 ~ 15分毎  
運行時間は12時 ~ 19時を予定  
[特別連携セット券] 前売一般/1,400円 当日一般/1,800円

**BankARTコレクション** これまでBankARTが行ってきた活動の中で、コレクションしてきた作品を新・港村の空間に展開。 田中 信太郎・原口典之・GUN・朝倉 撰・中原浩大・中西夏之・森村 泰昌・江場 佐知子・丸山 純子・牛島 達治・中谷 ミチコ・藤本 涼・磯崎 道佳・祐源 敏史・Anneke Pettican + Spencer Roberts・陳 宛伶・周 育正・何 明桂・頼 瑠瑜・高橋 永二郎・三宅 航太郎・櫻井 かえで・村田 真・進藤 瑛・甲 甲コレクション・アトリエワン

